

無料メディカルキャンプ



エイムズは、遠隔地にある貧しい村々に無料で医療サービスを提供しており、2004年には、58ヶ所で虚弱児童用のキャンプを開設しました。眼科のキャンプでは、白内障の状態が治療可能かを検査し、患者たちを無料手術のためエイムズへと送ります。

エイムズの移動式医療援助の活動では、部族民の住む遠隔地の村々に医療サービスを無料で提供し、村人は主要な疾病検査を受け、無料で薬を手にすることができます。必要であれば無料治療を続けるために、症例の照会がエイムズで行われます。

アウトリーチ特別プロジェクト

手術前

手術後



口蓋裂、および口蓋の欠陥の診断

口蓋裂、および口蓋欠損は、世界で4番目に一般的な奇形です。インドでは毎年、35000人の乳児がこの症状を持って生まれます。頭部と頸部を扱う診療科では、再建外科手術を実施し、新たな症例の発見と治療のために、無料の定期診断キャンプを行っています。

リウマチ性心臓疾患の監査

エイムズは、インド医療研究評議会により、国内に3ヶ所あるリウマチ熱、及びリウマチ性心臓疾患の監査機関の一つとして認定されました。小児心臓疾患部門の指導のもと、この事業では、学童における疾患の動向を確かめ、予防措置を広く一般に伝えます。



糖尿病予防

糖尿病は、ケーララ州において生死に関わる大きな病気の一つです。エイムズの内分泌科では、糖尿病についての意識を高めるため、アムリタ糖尿病福祉協会を設立するとともに、貧しい患者には無料でインシュリンを提供しています。またこの協会は予防措置を奨励するため、展示会や医療キャンプなども定期的に開催しています。

プライマリ・ヘルス・ケアの訓練プログラム (コーチ市)



訓練プログラムの第一期生たち

エイムズ医学学校の地域医療科では、「学生による地域での分かち合い、観察、参加、行動」を推進するという内容の、革新的な教育方針「SOPAL」を通して献身的な医師への育成をおこなっています。この科では数百名の少数民族の人々を医療補助員として育成し、そのために当校で診療の基礎を学んでもらっています。逆に地域医療科の学生と講師たちは訓練生達の村へおもむき、必要な診療を実施します。コーチ市自治体に向けた当学科の育成プログラムは、最貧困層4万の家庭におよびました。これは女性に対し、地域の医療補助員になるためだけでなく、母親として子供の健康管理ができるように教育訓練するものです。当学科は大学で学生対象のセミナーを開き、性と生殖に関する健康、HIVエイズ、ドラッグ、飲酒についての教育もほどこしています。

苦痛緩和のための在宅介護

在宅介護科では、終末期の患者、特に通院が出来ない患者や苦痛の除去を必要とする患者たちに対して、愛のこもった介護を実施しています。在宅介護を担当する部署は、患者への医療行為に加えて、家族全体に対する在宅での精神的サポートをすべて無料にしています。

この診療科は1999年に設立され、毎年75,000人の患者を無料で治療してきました。大部分の病院では、このようなサービスを提供することは経済的な面から、消極的にならざるを得ません。



遠隔医療



2002年にエイムズは、インド宇宙研究機関(ISRO)と提携して、ケーララ州で初めての遠隔医療センターを設立しました。医療情報は、通信衛星を通じて遠く離れたセンターから送信されます。現時点では、インド国内で36ヶ所あるセンターが相互につながられています。エイムズでは高機能をそなえ、衛星を通じて起動する遠隔医療バスを運用しています。この、乗り合いバスと同じ広さのバスには、レントゲンと心電測定のための設備、病理検査室が備えられています。へき地においても最新技術をもちいた診療が可能になります。M.A.マートでは、シャバリマラ、アムリタプリ、およびアンダマン諸島をふくむ津波救援活動の現場に出張診療所を設けています。